

令和5年度 第9回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和5年12月18日 午後4時00分から

場所 千種市民協働センター 3階 ホール

第9回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和5年12月18日（月） 午後4時00分～5時10分

兵庫県宍粟市千種町千草168番地 千種市民協働センター 3階 ホール

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

飯田さおり 委員

金本一二 委員

中川まゆみ 委員

事務局

大谷奈雅子 教育部長

大砂正則 次長兼教育総務課長

小池信仁 こども未来課長

水口恵子 社会教育文化財課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

是兼由季子 教育総務課主査

小河秀義 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

岡内由里 こども未来課長（指導担当）

西林文隆 次長兼施設整備課長

岩本浩二 教育総務課副課長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、金本委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和5年度第8回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の会議録について、大砂次長兼教育総務課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

次の5点について、中田教育長が報告した。

（1）教育委員会の職務権限の特例に関する条例に対する意見聴取について

これまで総合教育会議等で協議いただいたスポーツに関する事務を教育委員会から市長部局に移管することについて、12月議会への「宍粟市教育委員会の職務権限の特例に関する条

例」の上程に伴い、地教行法第23条の規定に基づき、11月29日付で市議会から教育委員会に意見が求められた。この件については、教育委員会に付議する暇がなく、教育長の臨時代行とすることを委員の皆さまに了承いただいていたことから、同日付けで教育委員会として異議がない旨の文書回答を行っている。

(2) 12月議会上程議案の可決について

11月の教育委員会で審議いただいた12月補正予算案・条例案は、12月14日に可決された。

(3) 山崎南中学校学校規模適正化に向けた対応について

12月5日に第3回地区協議会を開催した。後ほど担当より報告する。

(4) 波賀生活圏の拠点づくり施設周辺と既存施設の方向性（案）について

波賀市民協働センターが来年4月に開設することに伴い、メイプル福祉センターの中にある波賀保健福祉課と子育て支援センターの機能が波賀市民協働センターに移転される。これに伴い、メイプル福祉センターと教育研修所として活用している旧野原小学校の跡地活用について、庁内5部局で検討を進め、教育委員会として活用する部分の方向性を整理した。後ほど担当より報告する。

(5) 人権教育講演会について

1月5日に人権教育講演会を開催する。委員も都合がつくようであれば、出席をお願いしたい。

6 協議報告事項

(1) 央栗市教育委員会事務事業（令和4年度実施事業）評価結果について

別冊資料により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

(2) 山崎南中学校区 学校規模適正化推進状況について

資料1【1～16P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

(3) 令和6年度版「央栗の教育」編集方針について

資料2【17～18P】により、中田学校教育課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(中川委員)

幼児教育支援委員会について、点検・評価の有識者会議のなかで、とても有意義な取組と評価されているが、今まで民間・公立の園所と小学校の教員が一緒に子どもについて話をする機会がなかったことも含め高く評価いただいたかと思う。今後も取組を続けていってほしい。

(中田教育長)

点検・評価について、別冊資料20ページの「発達の過程を見通した教育・保育計画の作成と実践」については、中川委員の意見のとおり、この幼児教育支援委員会の取組を評価していただいたことを前向きに受け止めるとともに、来年はアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの部分を中心に検討いただきたい。

次に25ページの「生きる力の育成～確かな学力・豊かな心・健やかな体～」については、学力調査が例年4月に実施されることから、今年度のうちに、学力向上委員会の来年度の取組内容や方向性を検討しておく必要がある。また、不登校対策についても「教員と児童生徒との間でのつながりが根本になれば成長は望めないと思う。」との意見をいただいているが、この言葉を大切に、引き続き取り組んでいく必要がある。

次に30ページの「小中一貫教育の充実」については、一宮北学園が3年目を終えようとしていることから、宍粟市全体の小中一貫教育の検証が必要と思う。目標に対しての実績、目標達成に向けた課題など、検証に基づいたうえで新たな方向性を検討していく必要がある。

次に33ページの「人生100年を通じた誰もが参加できる生涯学習の推進」のリカレント教育については、市民のニーズとうまくマッチできるような形で講座を充実させていくことで、宍粟の良き取組として定着していけばと思う。

最後に36ページの「人権を尊重した地域づくりや交流活動の支援」のエスワングランプリについては、回数を重ねられ非常に良い取組だと思うが、今後の在り方について、これも検証が必要でないかと思う。

いくつか感想を述べたが、今後の事業の実施に活かしてもらいたい。

また、今年度の点検・評価として重点施策を8項目選定しているが、こういった観点で選定したものか、説明をお願いしたい。

(大谷部長)

バランスを見ながら、就学前教育・保育、学校教育、社会教育の分野から選定している。また、今年度の8項目については、昨年度と同じ事業を選定している。昨年度、重点施策を選定するにあたり、どれも大切な事業であるが、そのなかでも事業として新たな動きがあるものを中心に選定した経緯があり、今年度については、同じ項目を深堀りしていきたい意図もあって昨年度と同じ事業を選定した。

(中田教育長)

令和6年度の「宍粟の教育」について、スポーツ推進の分野を削り社会教育の分野でボリュームを調整することだが、その対応でも良いし、スペースに余裕があるのならば、なぜこれらの施策が実施されるのか、そのバックデータ等を入れることも編集委員会で検討されたい。

(4) 令和5年度宍粟市人権教育講演会実施要項について

資料3【19P】により、中田学校教育課長が説明した。

(5) 教職員の勤務時間実態調査結果報告書について

資料4【20P】により、中田学校教育課長が説明した。

(6) その他

・令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

資料5【21～22P】により、中田学校教育課長が説明した。

・波賀生活圏の拠点づくり施設周辺と既存施設の方向性（案）について

当日配布資料により、小河次長及び中田学校教育課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

勤務時間実態調査について、例年9月分を確認しているが、夏休み明けの2学期の始まりであることや中学校は体育祭もある関係で、超過勤務時間の短縮は難しく、このあたりが限界かと感じる。特に教頭の超過勤務時間の多さが気になるところで、管理職試験の受験者が少なくなっている要因の一つかと思う。宍粟の生き生きプランのなかで、超過勤務時間の目標を35時間以内と設定しているが、個人の努力だけでは達成することは困難であり、1人の教員に業務が集中しないよう事務分掌の見直しや組織的な取組が必要かと思う。

また、1日当たりの超過勤務時間について、30日で割って算出され1日当たり1時間22分となっているが、これは土日も含んだ計算になっている。今年の9月であれば平日は21日だったが、この日数で算定したほうが実態に近いかと思う。この場合、教頭の超過勤務時間は1日当たり3時間20分となり、かなり遅くまで残業していると感じるが、どうとらえられているか。

(中田学校教育課長)

前段については、教職員1人ひとりのタイムマネジメントとは別で、何か教育委員会としてもできることはないかということで、勤務時間適正化委員会のなかで協議し、市内の教職員が同じシステム（グループウェア）を活用することで、連絡・報告・資料の授受等をペーパーレスでやりとりできる取組を進めている。次回の会議では、そのシステムの活用方法についての研修会等も開催する予定である。

後段については、中学校の部活動教員の意見もあり、土日も含めた数で割り算をしていたが、ご指摘の部分を含めて見直していきたいと思う。

また、小学校の教頭と教職員の超過勤務時間は増加しているが、中学校の教頭と教職員の超過勤務時間は減っており、このあたりにヒントがあると思うので、システムの活用とあわせて、次回の会議で中学校の教員等から改善方法等を聞いていきたいと考えている。

(片山委員)

昨年度、勤務時間実態調査に関連し文科省が実施したアンケートがあり、そのなかで、学校が担っている仕事の中で削減が難しいのはどれかとの問いに対し、保護者や地域に

絡んだ仕事が削減できないとの回答が非常に多かった。これから学校の勤務時間改革を進めていくには、保護者も地域も企業も含め社会全体が一丸となるような取組を進めていかなければ、改革を進めていくことは難しいかと思う。今それを進めようとしているのが部活動の地域移行であり、この取組が推進されていくことが学校の勤務時間改革の一つのかぎになるかと思う。

7 次回会議の招集について

令和6年1月18日（木）午前9時30分から、市役所4階402・403会議室において、令和5年度第10回穴栗市教育委員会を開催することとした。

8 閉会

片山委員が閉会した。